

団体及び企業の経営者・教育担当者様へ

【特集】基礎的 IT セミナーのご利用案内

「基礎的 IT セミナー」ご利用アンケートへのご協力をお願い（裏面）

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
 福島支部 福島職業能力開発促進センターいわき訓練センター（愛称：ポリテクセンターいわき）
生産性向上人材育成支援センター

〒973-8403 いわき市内郷綴町舟場 1-1
 ☎0246-26-1231 Fax 0246-26-1237

「基礎的 IT セミナー」の実施にあたって

- ◆本年度後期から開始する「基礎的 IT セミナー」の実施の趣旨等は以下のとおりです。
- ◆第 4 次産業革命による技術革新の進展により、あらゆる産業において、IoT、ロボット、ビッグデータ、AI、RPA などの IT 技術の利用が進められる中で IT 技術を活用した事業展開を図るためには、全ての従業員が今後標準的に**基礎的 IT リテラシー**を身につけることが求められています。
- ◆全国の生産性向上人材育成支援センター（ポリテクセンター）は、中小企業等で働く人々を対象とした IT の活用や情報セキュリティ等の基礎的 IT リテラシーを習得するための基礎的 IT セミナーを幅広く民間機関等の教育資源を活用（民間委託）して実施し、技術系の各セミナー・生産性向上支援訓練との一体的な展開を図ることにより、地域企業の人材育成の支援の強化に取り組めます。
- ◆**基礎的 IT リテラシー**とは、現在入手・利用可能な IT を使いこなすことにより、企業・業務の生産性向上やビジネスチャンスの創出・拡大に結び付けることができる土台となる能力のことをいい、いわゆる IT 企業で働く者だけでなく、IT を活用する企業（IT のユーザー企業）で働く者を含め、全てのビジネスパーソンが今後標準的に装備することを期待されるもの。具体的には、次の 3 つの項目（訓練分類）としています。

- (1) IT 理解
世の中にどのような IT があり、それぞれどのような機能・仕組みを有しているか、どのような場面で活用されているかについての理解
- (2) IT スキル・活用
企業・業務の課題解決場面に有用な IT を選定し、その IT を操作して目的に合う情報を取得・分析・表現し、課題解決につなげる能力
- (3) IT 倫理
IT を安全に活用するための情報セキュリティやコンプライアンスの知識

「基礎的 IT セミナー」の計画数

全国で、平成 30 年度から 32 年度までの 3 か年で 3 万人の受講計画者数を計画しています。平成 30 年度は 4 千人、平成 31・32 年度は 1 万 3 千人を計画する予定です。なお、福島県内では平成 30 年度は 60 名の計画で、いわき地域では 1 コース（15 名程度）を計画します。

「基礎的 IT セミナー」のコース・カリキュラム

- ◆左記表に平成 30 年 7 月現在策定した 38 コースを紹介しています。
- ◆時間数に幅があるコースは、利用企業等の希望などに沿って計画します。
- ◆カリキュラム内容は、企業のご希望なども考慮し計画します。
- ◆カリキュラム内容を知りたい場合はお気軽にご連絡ください。

「基礎的 IT セミナー」の受講料

- ◆IT 理解（ネットワーク分野に限る）・IT スキル・活用・IT 倫理の分類コース

< 訓練時間数 >	< 受講料(税込み) >
3 時間以上 12 時間未満	2,160 円
12 時間以上 18 時間未満	3,240 円
18 時間	4,320 円
- ◆IT 理解（ネットワーク分野を除く）分類コース

< 訓練時間数 >	< 受講料(税込み) >
3 時間以上 6 時間未満	2,160 円
6 時間以上 12 時間未満	3,240 円
12 時間以上 18 時間未満	5,400 円

「基礎的 IT セミナー」の実施会場

- ◆実施会場は公募により選定された民間の教育機関となります（基本的に「ポリテクセンターいわき」は会場となりませんが、コンピュータを使用しないコースは当センターを会場とする場合もあります）。
- ◆いわき地域でコンピュータ関連教育の設備や講師、各種教育訓練の実績のある機関の参画をお願いします。
- ◆実施機関の要件につきましてはご相談をお願いします。

「基礎的 IT セミナー」の計画実施手順

- 計画から実施までの流れの概要は以下のとおりです。
- ①**コースの設定**
企業の希望などに沿って、コース名・実施地域、実施期日の概要などを設定します。
 - ②**実施機関の公募・決定**
ポリテクセンターのホームページで教育訓練実施機関を公募し、選定し、決定します。
 - ③**受講企業（受講者）の公募**
ポリテクセンターが受講者を公募します。
 - ④**受講料の納付**
受講企業に受講案内と受講料請求を連絡しますので、受講料は指定口座に納付をお願いします。
 - ⑤**コースの受講**
選定された教育訓練機関で受講します。
 - ⑥**実施機関への委託費の支払い**
実施完了後、所定の委託費を支払います

「基礎的 IT セミナー」コース一覧（平成 30 年 7 月現在）

分野	分類	No	コース名	訓練時間
IT 理解	新技術動向	1	第 4 次産業革命のインパクト	3
		2	AI(人工知能)の現状	3
		3	ビッグデータの概要	3
		4	RPA(Robotic Process Automation)による業務の自動化	3
	業務の IT 化	5	IT 化を推進するためのつながる業務への理解	6
		6	ビジネスプロセスモデルを活用した業務プロセス分析	6~12
		7	ムダを発見するための業務とデータの流れの見える化	6~12
		8	失敗しないためのシステム化に関する基礎知識	6~12
	ネットワーク	9	社内ネットワーク管理に役立つ LAN の基礎	3~6
		10	ワイヤレス環境に必要となる無線 LAN とセキュリティ	6~12
		11	トラブル時に役立つ通信ネットワークの基本	3~6
IT スキル・活用	表計算	12	表計算ソフトの業務活用	6~12
		13	業務に役立つ表計算ソフトの関数の活用	6~12
		14	効率よく分析するためのデータ集計	6~12
		15	ピボットテーブルを活用したデータ分析	6~12
		16	品質管理に役立つグラフ活用	6~12
		17	表計算ソフトを活用した統計データ解析(1)	6~12
		18	表計算ソフトを活用した統計データ解析(2)	6~12
		19	表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化	12~18
		データベース	20	大量データ処理に活用するデータベース(基本編)
	21		大量データ処理に活用するデータベース(応用編)	6~12
	22		データベースソフトを活用した高度なデータ処理	12~18
	プレゼンテーション	23	視覚効果を活用するプレゼンテーション技法	6~12
		24	相手に伝わるプレゼン資料作成	6~12
		文書作成	25	ビジネス文書作成技術
	26		正確に伝わる技術文書作成のポイント	6~12
	27		HTML による Web ページ作成	6~12
	ホームページ	28	スタイルシートを活用した Web ページデザイン	6~12
		29	読まれるための Web ライティング	6~12
30		集客につなげるホームページ設計のポイント	12~18	
情報発信・収集	31	SNS を活用した情報発信	6~12	
	32	インターネットを活用した情報収集力の向上	3~6	
IT 倫理	コンプライアンス	33	ネット炎上と SNS の危険性	3
		34	IT に関する法制度の理解	3
		35	ケーススタディから学ぶインシデント対応	3~6
	情報セキュリティ	36	インシデントと情報セキュリティの必要性	3
		37	社内ネットワークの情報セキュリティ対策	3~6
		38	情報漏えいの原因と対策	3~6

「生産性向上支援訓練」情報

「生産・業務プロセスの改善」「横断的課題（組織マネジメント）」「売上増加」に関する 57 コース（新たに 5 コース追加）を用意していますので、ご利用希望の団体・企業様はお気軽にご相談・ご連絡をお願いします。

- ***** 追加された 5 コース(平成 30 年 7 月現在) *****
- 【品質保証・管理分野】 サービスマネジメントによる品質改善と向上
 - 【バックオフィス分野】 クラウドを活用した情報共有能力の拡充
RPA を活用した業務効率化・コスト削減
IT ツールを活用した業務改善
 - 【組織マネジメント分野】 ネット炎上時のトラブル対応

